

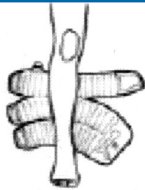


•

装着マニュアル

# スリーブの巻き方

## 下腿用スリーブ



1.チューブは足の外側に向け、コネクタのある側を膝の直ぐ下にし



2.上から下に、スリーブに皺が寄らないように巻きます。



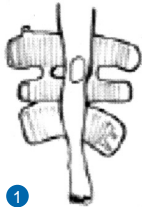
3.スリーブと患者の足との間に指が1・2本入る程度にフィットさ



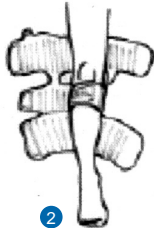
4.延長チューブ(再使用)と接続。Wマーク(表裏)を合わせる。



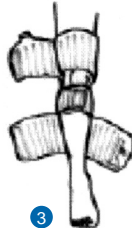
## 大腿用スリーブ



1



2



3



4



5

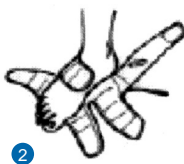


6

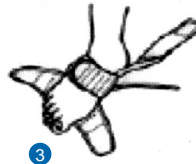
## 足底用スリーブ



1



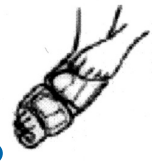
2



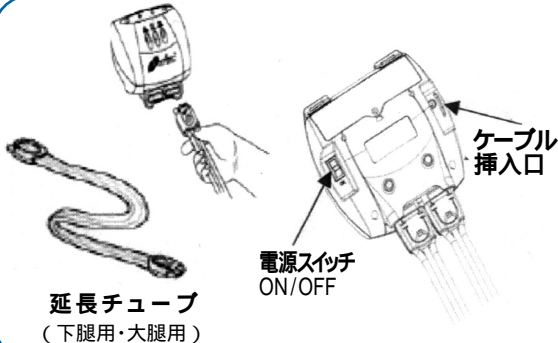
3



4



5



延長チューブはWマークを本体上面に向けて接続してください。  
電源ケーブルで、本体と設備電源とを接続します。  
PS( パワーサプライ )ランプが点灯( グリーン )。  
本体底面の電源スイッチをONにします。  
本体が起動し、約2分間の自己診断モードにはいります。  
接続しているスリーブに適切な圧力に自動調節します。  
自己診断を終えると、スリーブの組み合わせ状態を本体の上面にモード表示します。足底と下(大)腿とのミックスモード以外では以下のように表示します。

両足とも間圧力のスリーブ .....緑色の点灯  
片足のみ使用 .....緑色の点滅

スリーブを変更する時は、一度電源スイッチをOFFにしてリセットしてから、再度ONして下さい。

# トラブルシューティング

もしも**1**アラームが  
鳴った場合

バッテリーランプがオレンジ色になっていませんか？  
ERRランプが点滅していませんか？  
ERRランプが点灯していませんか？

のバッテリーランプが  
**2**オレンジ色の場合

バッテリーの充電が不足しています。  
直にACアダプターを取り付けて下さい。

のERRランプが  
**3**点滅した場合

空気が詰まっている事を表示しています。  
チューブが圧迫されていないかを確認下さい。  
(チューブが足の下を通っていないか・折れ曲がっていないか等)

のERRランプが  
**4**点灯した場合

空気が漏れている事を表示しています。  
チューブとスリーブor本体の接続ができていないかを確認ください。  
(向きが合っているか・奥まで接続できているか)  
スリーブが消耗し空気が漏れていないかを確認ください。  
(消耗の度合いによって穴が空いていないか)

上記内容を確認頂き、各異常部に対応して下さい。  
それでも解消されない場合は、一度電源をOFFにし、再度ONにして立ち上げてください。

ERR点灯時及び点滅時にアラームが鳴った場合は右・左のどちらのスリーブ及びチューブに異常があるかを認識する為、  
異常のあるスリーブにエアーが送られる時にのみアラーム音が鳴ります。  
アラームが鳴った時にエアーが送られている方のスリーブ及びチューブを確認してください。

## スリーブの選択のアドバイス

- 足底用・…… 整形外科のオペでどうしても大腿から下腿にかけてスリーブの装着ができないとき。(健側は通常の下腿用をお勧めします。)
- 下腿用・…… 一般的なオペの場合
- 大腿用・…… 碎石位のオペや出産、ラパロによる気腹を行う手術時

## ウィズエアー DVT<sup>®</sup>

### スリーブに関して

スリーブを装着された時に、アレルギー、褥瘡、神経障害が起こっていないか必ず何時間か毎に皮膚の状態をチェックしてください。もし、何らかの変化が認められた場合は、直ちに使用を中止してください。

スリーブを装着すると患者の動きが鈍くなってしまうことがあります。下肢の褥瘡好発部位は特に注意を払っていただき、褥瘡予防対策を施してください。

側臥位になる場合、スリーブのセルのチューブや、コネクション部が下になると、神経障害や褥瘡の原因になることがありますので、下にならないように注意を払ってください。

大腿、下腿用スリーブは空気が末梢から中枢に送られる方式になっておりますので、上下方向を反対にして使用しないでください。

スリーブの下に弾性ストッキングを併用した場合、十分な効果が得られなくなる恐れがありますので使用には十分な注意を払って下さい。

足底用スリーブを装着したまま歩くことや、スリーブを握り締めて異常な圧力をかけると本体にある安全装置が働き、空気がでなくなりますのでそのような行為を行わないようにしてください。

### 本体に関して

本体を布団の中や体温維持装置に触れるようなところで使用すると、本体が異常に加熱される事がありますので、そのような場所を避けてお使いください。

**取扱説明書も熟読の上、使用ください。**

製造販売元



**原田産業株式会社** メディカル事業部  
〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目10番2号  
Tel: (06) 6244-0978